

# 数学 I 学習指導案

日 時 平成 21 年 6 月 10 日 (水)

対 象 普通科 1 年 1 組 13 名

指導者 東上床 裕

【1】科目名 数学 I

【2】学級の特徴 普通科の 1 年生。授業態度も良く、真面目に取り組む生徒が多い。また少人数（習熟度）クラスの上位クラスなので、理解力の高い生徒が多い。しかし、基礎基本の学力差があり、数学に対して苦手意識をもつ生徒もいる。その生徒達に、授業中の集中力がとぎれないようにさせることが課題である。そのため机間指導等を行い、たくさん声を掛けるようにしている。

【3】教科書 新数学 I 第一学習社

【4】単元 2 章 方程式と不等式 2 節 1 次不等式

【5】単元の内容と時間配当（第 2 章 方程式と不等式 計 15 時間）

1 節 2 次方程式（7 時間）

2 節 1 次不等式（8 時間）

1. 不等式 (1 時間)

2. 不等式の性質 (1 時間)

3. 不等式の解法 (3 時間)

4. 問題演習 (2 時間)

5. 連立不等式（プリント） (1 時間) [本時 1 時間]

【6】本時の実際

## 1. 目標

- ・教科書外の発展的内容を理解する。
- ・不等式の解について理解を深める。
- ・解の範囲を求めるのに数直線を利用できる。
- ・連立不等式の解を求めることができる。
- ・身のまわりの事象に 1 次不等式を応用できる。

## 2. 授業展開

過程	学習の内容	学習活動と指導過程	指導上の留意点
導入 (5)分	不等式にも方程式と同じように連立不等式があることを理解する。	連立不等式 $\begin{cases} x + 1 \geq 3 \\ x - 2 < 2 \end{cases}$	両方の不等式の範囲を満たす $x$ の範囲を求める。  連立不等式の解き方 1. それぞれの不等式を解く。 2. それぞれの解を 1 つの数直線上に図示する。 3. 2 つの解の共通部分を求める。

